

## 関西支部シニア会活動報告

行事名	シニア会発足10周年記念バスツアー (研修キャラバン、機械・産業遺産ツアー、特徴ある技術を有する中堅企業見学会、親と子の理科工作教室の4者合同企画)
回次	
開催日	2015年 11月 25日(水)、26日(木) 1泊2日
場所	25日午後… 小松製作所栗津工場(新工場)、こまつの杜 26日午前… 兵神装備株式会社、午後… 菅浦郷土資料館 宿泊: 栗津工場保養所「松風荘」
参加人数	31名
行程	江若交通大型バスを利用 行き: JR 大津駅-名神高速-北陸自動車道-小松製作所栗津工場 帰り: 北陸自動車道-木ノ本 IC-兵神装備-木ノ本 IC-8号線-303号線-菅浦郷土資料館-つづら尾崎展望台から奥琵琶湖パークウェイ(一方通行)を経て-303号線-161号線(湖西道路)を経て JR 大津駅帰着
感想	<p>コマツ栗津工場では、挨拶・会社概要説明のあと(写真1)新工場の見学に移った。ここは、地下水の利用・バイオマス発電などにより購入電力の90%を削減した最新鋭の工場で、1本のラインで2機種・数十型式以上の製品が組立可能な混流ラインとなっている。全面地下ピットの設置と広い柱間スパンなどによる有効作業空間の拡大、オーバーラップクレーンの採用、製品の流れと同期して作業員と必要工具類も流すことで作業者の動きを減らすなどの工夫で、面積当たりの生産性を倍増させており同社の生産技術力の高さを実感した。見学後、東京本社から来ていただいた商品企画本部のプロマネから、国産ブルドーザの歴史についてご講演をいただき、戦前から現在にかけての技術の変遷を知ることが出来た(集合写真1)。</p> <p>コマツの杜への移動後はまず超大型ダンプトラック930E(最大積載量297トン)前にて記念撮影を行った(集合写真2)。その後わくわくコマツ館を見学した。ここでは毎月コマツOBによる「理科&amp;ものづくり教室」が活発に行われている。運営にかかる費用はすべて会社負担とのことで羨ましく思った。会議室での交流会では、先方の活動の実績と当方のビデオによる「親と子の理科工作教室」の紹介があり、歩行ロボットの実物も見て頂いた。今後繋がる交流会であった(写真2)。</p> <p>翌日はモノポンプで国内市場占有率98%を誇る兵神装備の見学である(写真3、集合写真3)。ステーター内にあるローターが回転するとその隙間にできたキャビテイ内に充満した液体が密閉空間ごと前へ前へと脈動無く連続的に輸送されるメカニズムの説明があった。その特殊な構造から高粘度液・固液2相液・固液気3相や粉体の輸送まで応用できる特徴を生かして、下水処理場などの環境分野から自動車、食品・化粧品、化学工業などの業界まで、様々な用途に対応している事例が紹介された。またエネルギー対策にも積極的に取り組んでおり、工場電力の40%を賄える太陽光発電設備の見学をした。</p> <p>午後からは菅浦の郷土資料館を見学した。ここは中世の集落構造や村おきてなどを伝える貴重な資料「菅浦文書(国指定重要文化財)」で有名なところで、地元の方にその概略を説明頂いた(集合写真4)。その後、昨年重要文化的景観に指定された集落を少し散策した。雨上がりのびわ湖最北端の光景は、薄ぐれの湖面に雲間から光がこぼれ落ち何とも言えず神秘的であった(写真4)。</p>

集合写真1 小松製作所栗津工場にて



集合写真2 こまつの木にて



集合写真3 兵神装備(株)にて



集合写真4 菅浦郷土資料館にて



写真1 コマツ栗津工場での会社概要説明



写真2 コマツの木での交流会



写真3 兵神装備(株)での見学案内



写真4 びわ湖最北端(菅浦)

